



たこつぼ壕に米軍の迫撃砲が直撃
(証言より)

② 体験をイラスト化

また体験をイメージできる試みとして、訓練時の軍人勅諭を読み上げる、ほふく前進、行軍など、なじみがない様子をイラスト化しました。アンケートにもイラスト化を評価する声が多くよせられました。

「護郷隊にフォーカスした資料にはイラスト、説明文が添えられ、とてもわかりやすかった」

「写真やイラストが多く展示されていたので、イメージしやすかったです。私は中南部出身なので、北部におかれていた護郷隊の知識があまりありませんでした。しかし、詳しく、わかりやすくまとめられていたので、知識を深めることができました」

③ 地図をわかりやすく



第二護郷隊の召集状況

企画では護郷隊の動きを理解しやすくするために地図に工夫を凝らしました。「第二護郷隊の動員状況」「瑞慶山良光さんがたどったルート」「第二護郷隊の動員状況」など、少年たちが国頭村、大宜味村、東村、中頭郡から召集されたことを地図に落とし、なぜ地元を離れて、恩納岳に配備されたのかを時期を追って紹介しました。

④ 写真、絵

企画ではこれまで表に出てこなかった写真も展示しました。第二護郷隊の岩波壽隊長の中野学校在籍時、沖縄へ来る前の写真を展示しました。岩波隊長のご長男である岩波寿亮さんから写真を提供いただいたものです。

⑤ 短歌と証言映像

2019年には神奈川県在住の平良邦雄さんに体験をうかがい、ご本人の体験を描いた絵、当時の気持ちを表す短歌を展示しました。



米艦船から攻撃をうける特攻機 (平良邦雄さん筆)

後日平良邦雄さんが帰沖された際には恩納村でご自身が体験した場所での証言をおききました。その様子を映画「沖縄スパイ戦史」の三上智恵監督が撮影し、編集した映像を2019年6月から2020年3月まで恩納村博物館のホールで上映しました。

2021年もこれまでの企画展をふまえ、開催へむけて準備をすすめています。新型コロナウイルス感染拡大が収まらない中ですが、見学にあたっては感染予防の方策を講じ、来館者の皆様に安心してご覧いただけるようにいたします。ご来館をお待ちしています。(瀬戸)

◆2021年度平和企画展

開催 6月5日(土)～7月4日(日)

★慰霊の日の翌日、月曜日は休館

場所 恩納村博物館

開館 9時～17時